

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

80歳以上の高齢者下垂体部病変に対する神経内視鏡下経鼻的手術の現状と展望に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2005年1月から2022年9月までに昭和大学病院脳神経外科で下垂体腫瘍の治療あるいは診察を行った患者さん

2. 研究目的・方法

【目的】

下垂体部には下垂体腺腫をはじめとして様々な病変が発生します。日本をはじめとして多くの国々では高齢化が進行しており、高齢者の下垂体部病変に遭遇する機会が増加しています。高齢の患者さんは併存疾患の割合が高く、手術合併症に対する耐性が低いため、予後が悪化する可能性が高まっています。高齢の患者さんの外科治療を改善するためには、若い患者さんとの違いをより深く理解することが必要です。これまでの研究では下垂体腺腫のみに注目して調査が行われ、その有用性が示されていますが、80歳以上の超高齢者に対する下垂体腺腫以外の経鼻内視鏡手術についての報告は多くありません。昭和大学病院脳神経外科におけるこれらの病変に対する経鼻内視鏡手術について、特徴・成績・リスクについての調査を行い、高齢の患者さんに対する手術について現状と展望を検討します。

【方法】

昭和大学病院で下垂体腫瘍の診察や手術治療を行っている患者さんに対して、後方視的に画像データ、ホルモンデータ、診療記録を用いて解析を行います。データは個人の氏名、生年月日等を削除し、符号化を行い、解析します。符号化した情報も個人情報として適切に研究に使用します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2023年12月31日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に使用する試料・情報は診療時に含まれる試料・情報のみで、研究のために追加される検査項目はありません。診察や治療を受けられた患者さんのCT, MRIの画像データ、ホルモンデータ、手術前後の

全身状況の情報が含まれます。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 医学部脳神経外科学講座 医師・准教授 谷岡 大輔

分担研究者 医学部脳神経外科学講座 医師・主任教授 水谷 徹

分担研究者 医学部脳神経外科学講座 医師・教授 清水 克悦

分担研究者 医学部脳神経外科学講座 医師・助教 小林 裕介

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学 医学部 脳神経外科学講座

氏名：谷岡 大輔

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8605